

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 柏原市
 実践研究校名 堅上中学校

【公開授業】公開日：平成25年11月 1日

対象学年：3年

(教材・教科書名) New Crown (单元名) Lesson5 Mini-project	(本時の指導の目標) ALTやクラスメートに原稿を見ずに、日本文化などについてプレゼンテーションをする。その後ALTの質問に答える。 クラスメートのプレゼンテーションを聴いて、自分の感想や意見を簡単な英語で述べる。
---	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・プレゼンテーションの方法として、映像と音楽、実物、写真、手製の絵、紙芝居などと、様々な手段を利用してビジュアルを生かした発表を試みた。
- ・プレゼンテーションにおいて、感情を込めたジェスチャーの有効的な利用を試みた。
- ・プレゼンテーション評価シートの項目を3つに絞って、プレゼンテーションの重要ポイントをわかりやすくした。

(授業後を終えた教員の感想)

- ・生徒が自信を持って、楽しみながら笑顔でプレゼンテーションをしていたので、生徒にとっていい機会になったと思う。
- ・生徒はプレゼンテーションの準備の段階から、とても積極的に取り組んでいてその成果が出たと思う。

【研究協議会】

(テーマ) 子どもの表現力を高める授業づくりについて	(指導・助言者) 関西外国語大学 教授 中嶋 洋一氏
-------------------------------	----------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- ・教師の声掛けによって、生徒の表情が良くなっていた。
- ・50分中ずっと、教師の子供への励ましの言葉があって良かった。
- ・発表者に対する拍手があるなど、安心して学べる雰囲気があって良かった。
- ・生徒の役割分担が出来ていて、自己有用感を生徒は感じられていて良かった。

まとめ)

1. 表現力を高めるには、子ども同士を関わらせることが必要である。
2. 教師は教え過ぎないようにして、子どもを自主的学習者に育てることが大事である。
3. 心を育てることが学力の向上にもつながるので、教師は授業で生徒の心を動かすことを考える必要がある。